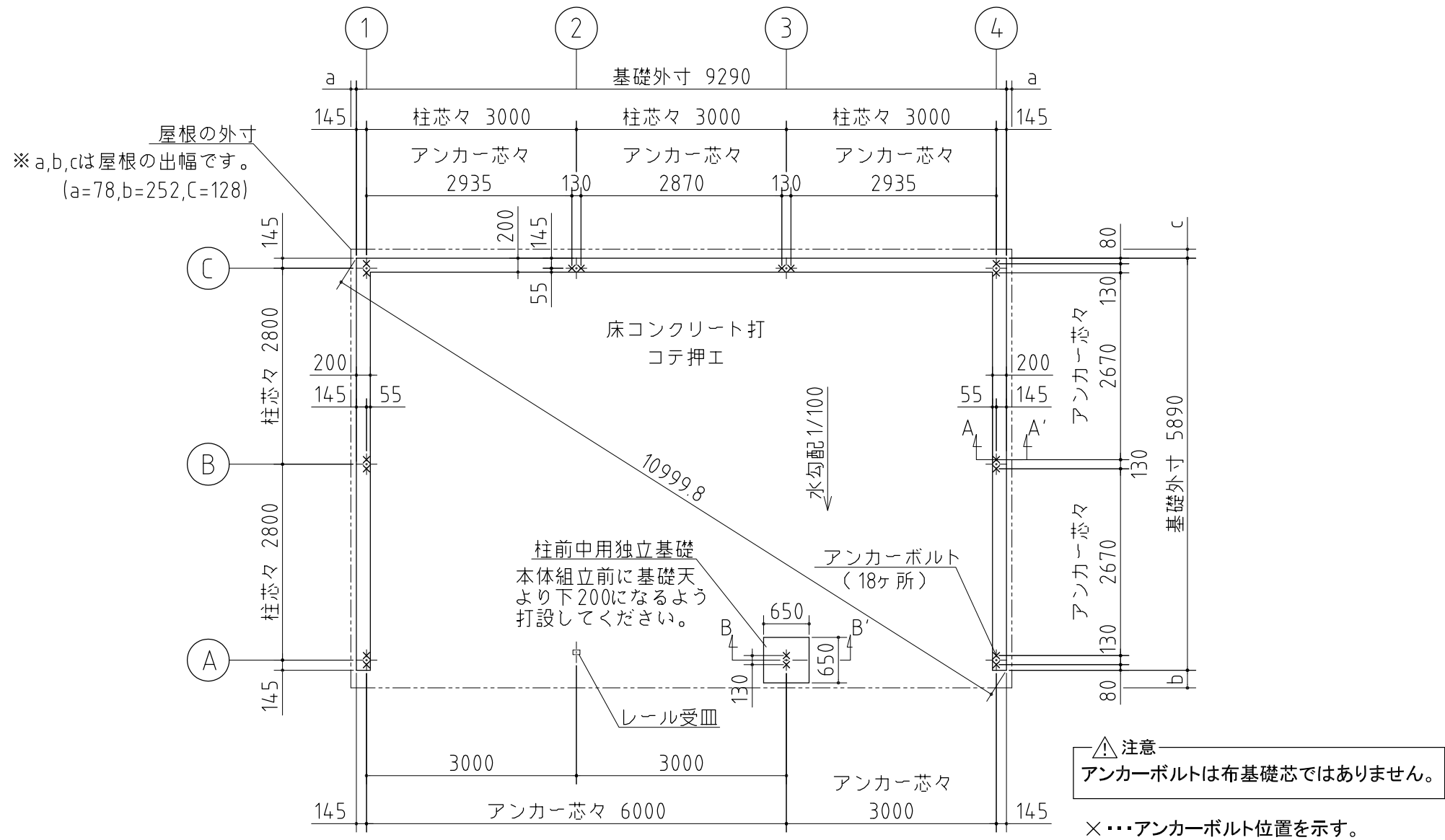
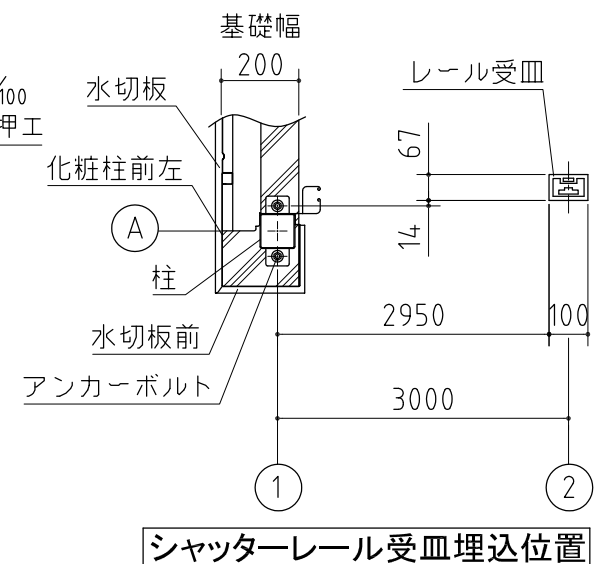
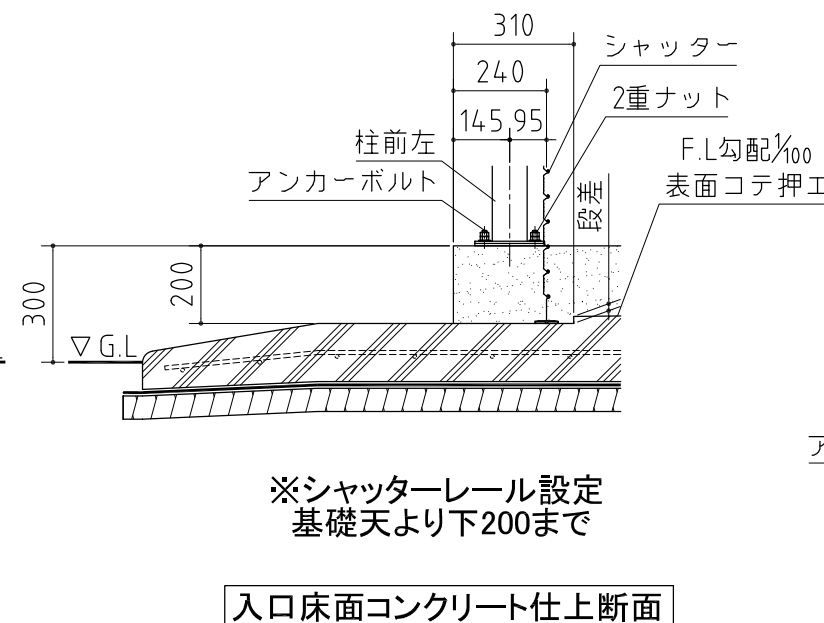
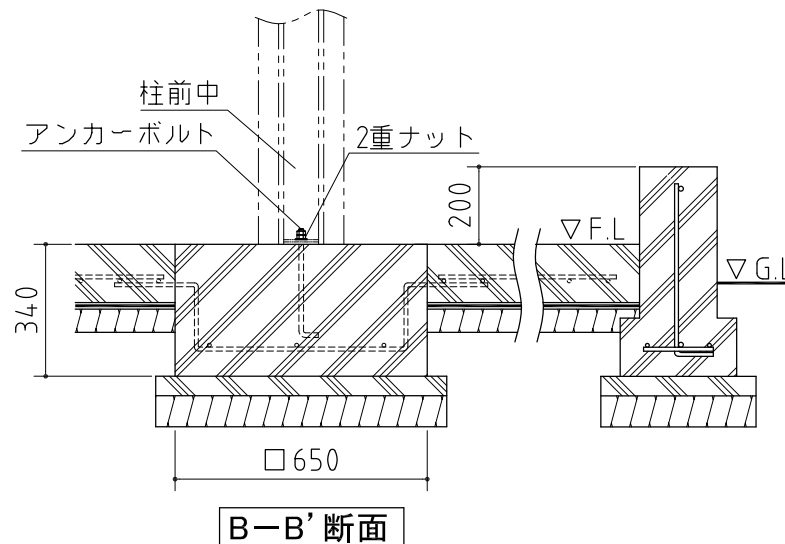
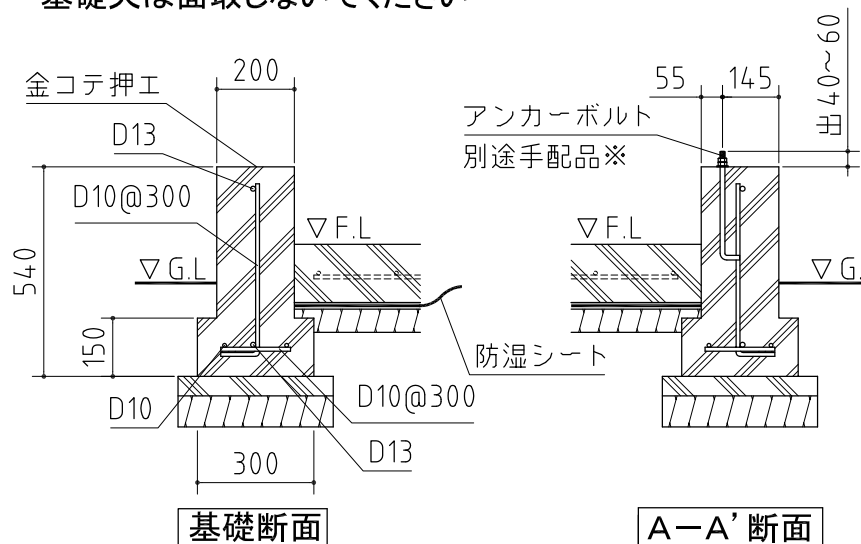




基礎詳細図 S=1/20

基礎天は面取しないでください



※アンカーボルトのサイズについて

・M12×240～300

又は

・W1/2×240～300

W1/2を使用する場合はボルト1本につきワッシャー1枚とナット2個もご用意ください。

※機種名の□は高さサイズ

によって表記が異なります。

ミディアムタイプ：M

トールタイプ：T

ジャイアントタイプ：G

基礎図

機種名 SGN-358□PN-3(右単体仕様)

※寒冷地等は、地域の実情に合わせた基礎にしてください。

〈縮尺〉S=1/80

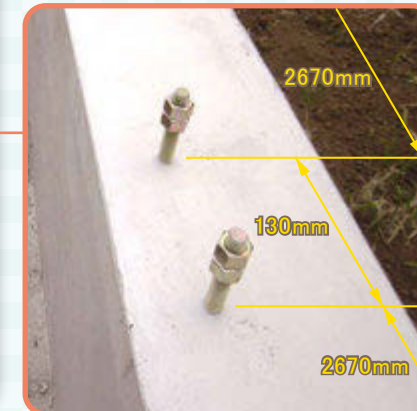
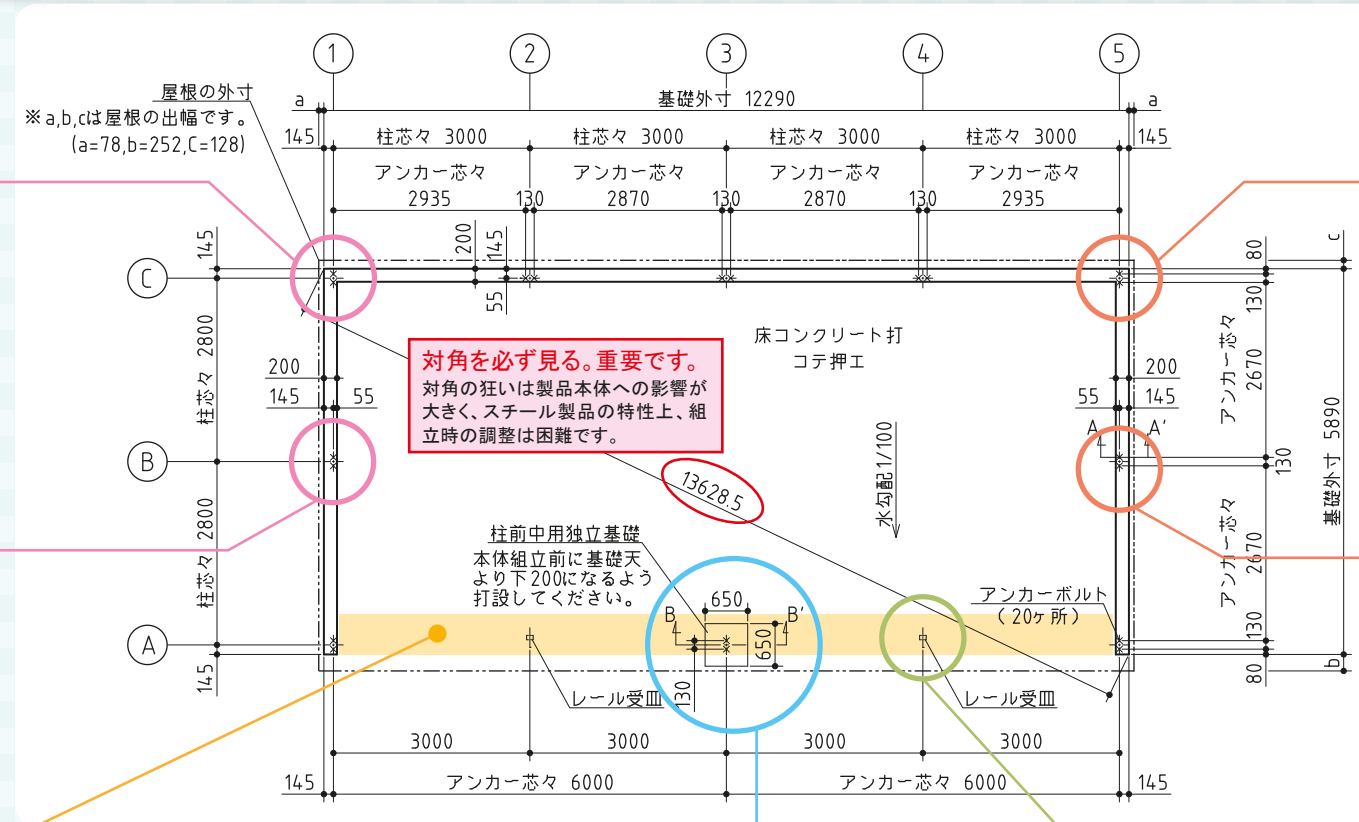
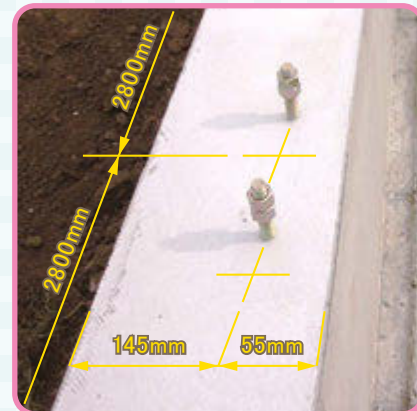
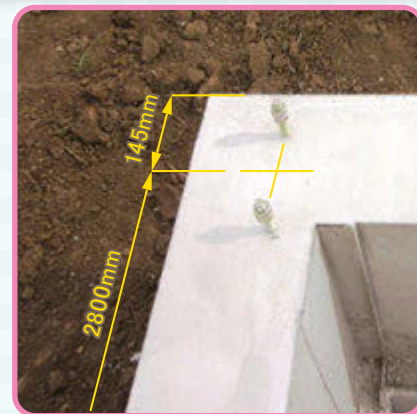
～一般型～

基礎図参考資料

SGN Type 布基礎仕様(一般型)の場合

※下記寸法はSGN-358T・GPN-4連棟の寸法です。施工の際は必ず対象機種の基礎図寸法に則して下さい。

柱芯々



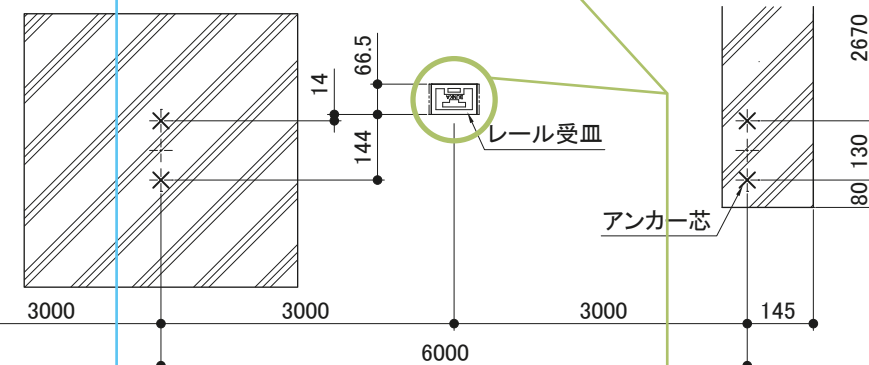
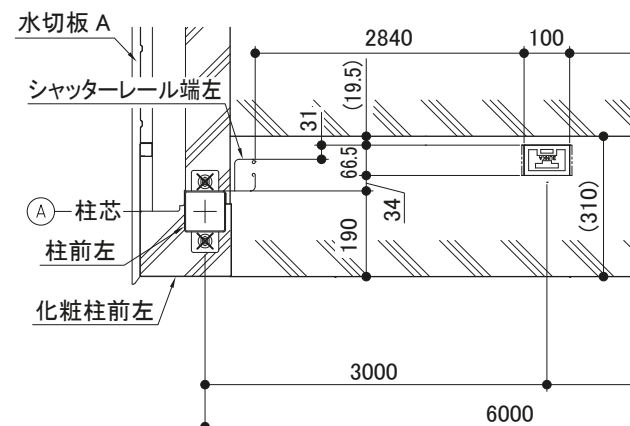
アンカー芯々

アンカー位置は正確に!



厚さ12mmのベースプレートにアンカーボルトを通し、柱を固定する構造です。アンカーボルトM12に対して、ベースプレートの穴径は16mmです。アンカーボルトの位置は正確をお願いします。

本体組立後にレール受皿を埋め込む場合

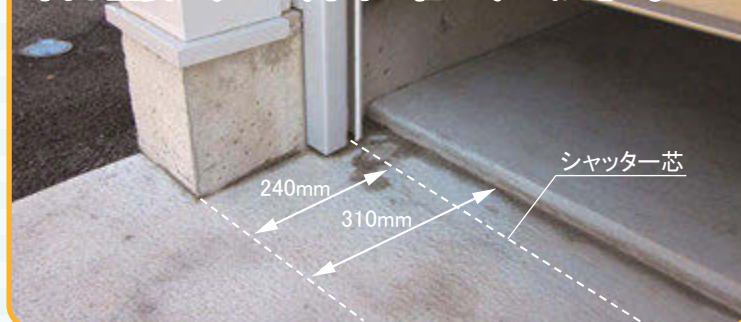


基礎天端は慎重に

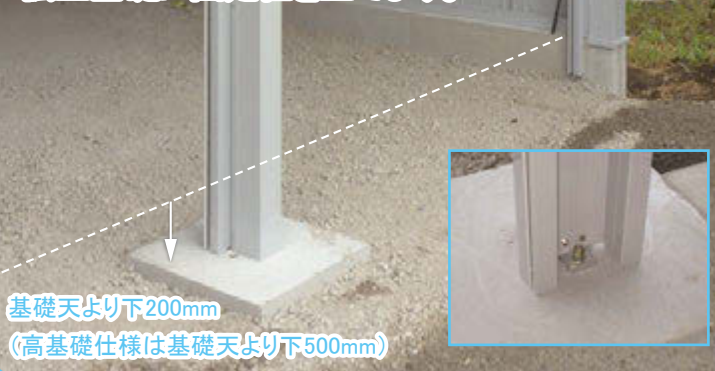


土台を設置する基礎天端は、水平でフラットになるように特に気を付けて仕上げて下さい。隙間が出来たり、建物がゆがんだりしてしまいます。

シャッターが下りる面や移動柱がスライドする面は重要ですので、水平に仕上げて下さい。



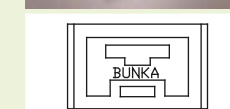
独立基礎に固定柱を立てます。



レール受皿



庫外側



庫内側から見て“BUNKA”のローマ字が読めるように設置すること

レール受皿を土間に埋め込み、移動柱を固定できるようにします。向きをお間違えの無いようご注意ください。